



熱いぜ！③

読む力、表現する力を高めるために

6月23日は、太平洋戦争末期に沖縄であった地上戦で犠牲になった人々らを悼む「沖縄慰霊の日」でした。

10月に修学旅行を控えた6年生が、新聞を手「戦争と平和」について**情報を得て**、それをもとに**自分の考えをまとめ**ました。

この日の各紙の一面を飾ったのは、沖縄慰霊の日ではなく、アメリカによるイランへのミサイル攻撃の記事でした。子どもたちの目と心にどんなことが突き刺さったのでしょうか。下に写っている6年生の表情を見てほしいのです。新聞に書いてある「戦争の事実」「写真という記録」「人々の思い」「記者の主張」などの**情報を熱心に探り、真剣な眼差しで読み深め、心で感じ、**つぶやいていました。

新聞に書かれている事実、思いや主張に触れながら、「戦争と平和」について、知ることから始めてほしい。そして、関心を高めながら、修学旅行の事前学習につなげてほしい。主体的に物事を考え、行動できる人間になってほしいという担任（大津）の願いが、新聞を活用した具体的授業として実践されています。



調べてわかったことや自分の考えをタブレット入力します。友達のもの比べると、より自分の考えに「やはりこれでいいんだ」と自信が持てたり（強化）、「そういう考え方もあるんだ」と、気づいたり（広がり）できます。

考えの強化

考えの広がり

考えの深まり

